

第11回全国自給飼料コンクール農林水産大臣賞の受賞について

1 要旨・目的

有限会社トムミルクファームは、地域の集落法人等と耕畜連携による WCS 用イネの生産・利用体系を構築し、農地保全と地域振興に積極的に貢献していること、牧草も含めた 61ha 分の自給粗飼料を給与することで高い粗飼料自給率を達成していることなどが、中山間地域における酪農経営のモデルとして高く評価され、第 11 回（令和 6 年度）全国自給飼料コンクールにおいて農林水産大臣賞を受賞した。

受賞を受け、令和 7 年 3 月 24 日（月）に同社代表取締役 沖 正文（おき まさふみ）氏、場長 沖 孝典（おき たかのり）氏が知事を表敬訪問し、これまでの取組及び農林水産大臣賞受賞について報告を行った。

2 有限会社トムミルクファーム（東広島市豊栄町）の概要

(1) 設立

平成 10 年 4 月 1 日

(2) 飼養頭数

乳用牛 225 頭（うち搾乳牛 169 頭、育成牛 56 頭）

(3) 飼料作物

WCS 用イネ 38ha、牧草 23ha（イタリアライグラス 16ha、その他 7ha）

(4) 経営の特徴

耕畜連携による WCS 用イネの生産・利用体系を構築し、農地保全と地域振興に積極的に取り組んでいる雇用型酪農経営体であり、自社でコントラクター組織を所有し、栽培契約による 38ha の極短穂型 WCS 用イネに牧草 23ha を加えた 61ha の飼料作物を給与することで粗飼料自給率 80.5%・TDN を達成している。（県乳用牛飼料自給率（H30）25.3%※）

また、広島型スマート農業推進事業を活用し経営の効率化を図るとともに、ジェラートショップ・レストラン等の 6 次産業化による消費者への理解醸成、及び、ガソリンスタンド経営による地域の活性化にも貢献している。

※出典：広島県酪農・肉用牛生産近代化計画書（R3.4 月）



圃場での作業風景



ジェラートショップ

3 全国自給飼料コンクールの概要

自給飼料の効率的な生産及び利用技術並びに放牧等の環境に調和した持続的な生産・経営方式等優秀な事例を全国から選定・表彰するとともに、これを広く紹介することにより、飼料基盤の重要性を啓発し、畜産経営の安定に資することを目的に、平成 26 年度に創設されたコンクール。

主催は一般社団法人日本草地畜産種子協会。飼料生産部門の永年牧草の部と飼料作物の部の 2 部、及び放牧部門の 1 部の計 3 部の応募から、最優秀賞（農林水産大臣賞）1 点、優秀賞（農林水産省畜産局長賞）2 点が選定された。



賞状授与式（R7.3.3KKR ホテル東京）